

第九四號

石兵團會報

十二月十四日 一ニロロ  
浦添國民學校

一 今回留守業務ニ關シ改正セシ從來ト相當變更セラレタリ本規定ハ未ダ受領シアラザルモ取敢ズ分明セル分ヲ交付スルニ付各部隊ハ主任者ニ研究セシメ遺漏ナキヲ期セラレ度 從來ノ例ヲ見ルニ部隊ノ研究不十分ニテ且主任者ノ變更ヲ頻繁ニシ遺漏多キヲ以テ注意セシ度

ニ 殊勲者ノ功績名簿ノ記事ハ當ヲ得ス何ノ爲殊勲ヲ奏スルヤ疑問ニテ戰闘詳報参照トアルモ戰闘詳報ニモナク又上位ノ者ハ殊勲

事項ナク下位ノ者ニ殊勲事項アルモ等又功績調査要領モ抽象的

ニシテ單ニ原則ヲ丸寫シセルモ等アリテ適當ナラス又用語ニモ注意セ

ラレ度 甚シキハ敵ハ睨射ストアルモ未ダ典範令ニモ睨射ノ文字ナシ

眞ニ各隊長ガ書キ又ハ點檢セルヤ疑問ノモノ少ナカラス下僚任セニ過

ス

當ニ處理セハ事務上ヨリ其結局理由ナシニ査定セラルノミナラス論議  
行貨ハ統帥ノ重要ナル部面タルヲ冒瀆スルモト言フク將來注意セ  
ラレ度又負傷セシ者ノ負傷ノ部位程度ヲ名簿ニ末尾ニ參考事項ト  
シテ記載セラレ度

定例報告ノ提出期日ヲ更ニ嚴守セラレ度 上月軍紀風紀狀況報告  
ノ如キハ十二月五日迄報告スベキモノヲ十一月十日至リテ漸ク提出セラレタル  
狀態ニテ當部ヨリ軍へ報告ニ因却ヲ來セリ又報告事項ニ就  
テハ七月六日石師副人第四五號八月三十日石師副人第七號ヲ以テ二面  
通牒シアルニモ拘ラス石<sup>第</sup>四八<sup>三</sup>部隊石第四八<sup>三</sup>部隊石第四八<sup>三</sup>部隊  
ノ如キハ將校ノ犯シタル非行ヲ報告シテアラズ自今更ニ調査ヲ上報告  
セラレ度

各部隊ヨリ提出セラル、懲罰月報ト懲罰報告トノ處罰月日ノ一致

セラルモノアルニ付注意セラレ度 上月中ニ於テ石第四八<sup>三</sup>部隊ニ四件アリ  
相違シアル際ハ速クニ訂正報告セラレ度

五 當部ニ提出セラル、書類中ノ野紙ヲ使用セルモノ等ニワザク上部下部ニ  
一ニ字ヲ書キ得ル空欄ヲ存スルモアリ注意セラレ度 又書類ノ見出し  
等ハ注意シテ記入セラレ度 野紙ノ左右ニ約十厘ノ區劃ヲ設ケアルハコレニ  
資センガ爲ナリ

六 當部獸醫部ニ於テ規定ニ類スルノ理由ヲ以テ紙ノ兩面ヲ使用シアラザ  
ルハ戰時下適當ナルモト認メ難ク度々注意セラレアル如ク特ニ規定キ  
限リ極力消費節約ニ努メラレ度 紙片一葉ト雖モ戰力ノ一ナリ、又兩面ヲ  
使用スル救救小トナリ携行ニモ便、永久的書類ナレバ保存ニモ便ニシテ利  
用價值大ナルニ注意セラレ度

軍會報中必要事項

軍參謀長ヨリ毎ノ如キ注意事項アリ各部隊各部ハ注意シ兵團  
内ニハカル事故ノ絶無ヲ期スル如ク速カニ處置セシ度又當時石第  
三五九六部隊ノ者ハ危険ヲ冒シテ附近ニ在リタル部隊ノ兵器彈藥ヲ  
搬出シテ危害防止ニ努メタル行動ハ適切ナリ

左

記

山兵團ハ上里附近ニ於テ列車輸送中、兵器彈藥ヲ爆發セシメ莫大  
ナル損耗ヲ來セリ一ロ一ロ空襲ニ依リ受ケタル被害ニ比較ニテハ厄大ナ  
ル被害ニシテ國軍創設以來初メテノ不詳事件ナリ此ニ依リ當軍ノ  
戦力ガ半減セリト言フモ過言トナラス 此レニ兵團ノ軍紀弛緩ノ證左  
ニシテ上司ノ注意及規定ヲ無視シタル爲惹起セルモノナリ、無蓋車ニ彈  
藥ガツリ等ヲ積載スベカラザルコトハ規定ニ明確ニ示サレトコロニシテ  
常識ヲ以テ判断スルモ明ラカナリ、輸送セル兵團ハ言フニ及バス此レガ援

助ヲ爲セル兵器廠兵站地區隊モ不可ニシテ夫々責任者ハ嚴罰ニ處セ  
ラルベシ 該事件ノ如キハ處罰ノミテ終ルベキ性質ノ

モノニ非ズ、戰爭ニ勝タシガ爲第一線ニテ不自申ナカラシメシガ爲銃後國  
民ガハ火ヲ燈スガ如ク總テヲ犠牲ニシテ日夜奮闘シテ生産セルモノニシテ  
銃後國民ノ赤誠ニヨルモノナリ、作戰上ノ必要ニヨル消耗ハ止ムヲ得ザルモ  
敵一兵ヲモ殺傷スルコトナク莫大ナル消耗ヲ來セルハ面目ナキ次第ナリ  
兵器彈藥燃料ノ分散格納不十分ナリシ爲カル莫大ナル損耗ヲ  
來セリ、各兵團ノ兵器彈藥其他ノ軍需品ノ分散格納モ極メテ不十  
分ニシテ普天間、宜野灣附近ノ道路ノ兩側ニ多量ヲ集積シタリタルモ  
艦砲射撃ヲ受ケレバ必ズ爆發燃燒スルハ明瞭ナリ  
各部隊兵器彈藥ハ速カニ掩蔽部ニ格納スベシ人員ノ掩蔽壕ハ  
選ルモ兵器彈藥ハ速カニ掩蔽部ニ格納スルヲ要ス



戦ハ大和魂ニシテ勝ヲ得ルモノ非ズ 兵器彈藥ハ戦勝上缺スベカラザ  
ルモノナルハ言テ俟ズ 軍ハ該被害ヨリ戦カノ半救以テ滅シ如何  
ニシテ之ガ前後策ヲ講スルカニ腐心シテ軍戰闘方針ヲ變ズルベ  
カラザル狀況ニ立到レリ 今敵上陸スルトセバ吾レハ敵ニ對應スベキ彈藥  
ナク玉碎スル外ナキ現狀ニシテ今後彈藥等ノ補給至難事ナラン  
將來兵團ニ交付シタル兵器彈藥其他ノ軍需品ヲ燒失爆發等  
セシメタル際ハ軍ニ於テ補給セス 其ノ餘カナシ 兵器彈藥等國  
情ヨリ見ルモ豊富トス各隊ハ極力兵器ノ愛護彈藥ノ節用ニ勉  
メ假初ニモ過失ヨリ戦力ヲ失ヒザル如ク注意セラシ度

軍司令官心痛ヲ見ルニ忍ビズ其意圖ヲ體シ各部隊ニ一言注意ス  
巡察ノ報告ニ依レバ左ノ如キ件アリ不良事項ハ匡正ニ努ムルヲト  
石第三五九三部隊内山家ノ西上等兵ノ荷馬車指揮及敬禮ハ

總良好ナリ(十月九日)

石第三五九三部隊川崎隊磯谷上等兵長峯隊大橋一等兵ノ態  
度敬禮嚴正ニシテ良好ナリ(十二月九日)

石第三五九三部隊通信隊ノ厠ハ露天ニシテ四周ノ圍キハ不可ニシテ  
尚宿舍附近ニ紙屑散亂シタルハ防諜上注意ヲ要ス(十月五日)

球第三〇九部隊日出間隊 原田上等兵小宮山一等兵ハ公用證ヲ  
所持セス 公用ト稱シ安波茶附 近ヲ步行シアリタルハ不可ナリ(十月五日)

石第三五九一部隊陸軍上等兵升井友春ハ公用證及外出證ヲ所  
持セス軍人會館ニ立入り私用ヲ辨シタルハ不可ナリ(十月十日)

石第三五九三部隊吉村隊第一小队某上等兵ハ巡察ヲ認ルル急ニ  
逃走セルハ不可ナリ(十月九日)

九 巡察報告ニ基テ等兵ト記スハ將來注意スシ本巡察者ハ石第三五九三部隊倉田  
見習士官ナリ

支隊長(三)日(五)

第九七號

石兵團會報

十一月十七日(天) 補添國民學校

一 昨十六日配布セル留守業務規程ニ關シ疑義不明等アルトキ十一月二十一日迄ニ質疑事項提出ノコト(無キ時ト雖モ其ノ旨提出ノコト)一事項一葉ニシテ覽書ニテ鉛筆書ニテ可

二 最近巡察報告ニ依ルバ左記ヲ除ク外兵團管内各部隊ノ軍紀風紀ハ概シテ嚴正ニシテ非違ヲ認メズ各隊ハ特ニ那覇首里ガ防衛地區内ニ入リタルト、軍直部隊ノ多數宿營シアルトニ鑑ミ軍紀風紀ノ振作ニ一層注意スルト共ニ益之ガ緊肅ニ努ムルコト

左記

ノ武庫一五二部隊所本隊庄田有司軍曹以下二十八名ハ無帶劍ノ儘勢理各ヲ通過シアリテ巡察者ヲ認ルモ敬禮ヲ行





ハズ其部隊指揮極メテ不良ナリ(十一月九日)

ニ夜間ニ於ケル小部隊ノ指揮極メテ不良ニシテ隊列ヲ崩シ上管ヲ認メテ慌テ列ヲ正シ敬禮スルモノアリ

特ニ武第五四部隊朝生隊ノ週番上等兵八野田上等兵以下

三名ハ無帶劍ニテ其ノ指揮極メテ悪シ(十一月十日)

武第五四六部隊田坂隊光井勇伍長ハ無帽無帶劍

ニテ上衣ノ鉛ヲ脱シ手拭ヲ首ニ巻キテ、ブラクト地方人ト等

シキ服装態度ニテ歩行シテリテ巡察者ノ質問ニ對シ入浴

行クト答ヘ尚質問スルニ野便所ニ行クト稱スル等虚言ヲ放

チ尚詰問スルニ両手ヲ合セ許シテ下サイト懇願スル等軍令

アズシキ行為ヲナシ極メテ不軍紀

ニシテ(十一月十日)

配布先 中隊連各部隊

石

兵團會報

十一月十六日 大浦 添國民學校

一回新ニ兵團ニ配屬セラレタル部隊通稱號左ノ如シ

虎附近防衛部隊 球第一四一七〇部隊

舊識名防衛部隊 球第一四二二二部隊

毎週木曜ニ行ハル、將校會報ニ理由ナク出席セザルモノ遅刻スル

モノナリ、將校會報ハ必スモ副官ノ出席ヲ要求シアザルヲ以テ

カルコトナキ様嚴ニ注意セラレ度

本十六日ノ留守業務規程教育後履歷書(恩賞書類ニ添付スル)

ニ就キ教六月ヲ行フ、各部隊ハ研究スルト共ニ經由部隊モ注意ノ

コト、從來豫想外ノ不備ナル履歷書ヲ留守業務擔任部隊ニ

送付シ居リタルモノニテ如何ニ上申部隊ニアラストハ言ハ部隊ノ權

威ニカハルヲ以テヨクヨク注意セラレ度

留守業務規程ハ遂次將校以下ニ普及シ留守業務ハ如何ニ